



平成 29 年 9 月 1 日 発表

担 当	多治見労働基準監督署
	安全衛生課長 早川 政志
	電 話 0572 - 22 - 6381
	夜 間 0572 - 22 - 6424

結晶性シリカ等による健康障害防止講習会を開催します

「シリカ等によるじん肺予防講習会」の開催について

多治見労働基準監督署(署長:大谷徹)と恵那労働基準監督署(署長:米山宏治)は、結晶性シリカ等によるじん肺等の健康障害防止対策を取扱事業場に周知する講習会を合同で開催します。

- | | |
|-------|--|
| 1 日 時 | 平成 29 年 9 月 8 日 (金) 午後 1 時 30 分 ~ 同 4 時 15 分 |
| 2 場 所 | セラトピア土岐 大会議室 |
| 3 参加者 | 多治見・恵那署管内において結晶性シリカ等(非結晶性シリカを含む)を取り扱っている事業場の安全衛生担当者 80 名 |
| 4 内 容 | 別添参照 |

- 1 結晶性シリカパウダーは、高純度石英の原石を粒径 1 ~ 30 μm 程度に粉砕加工した白色の珪石粉末であり、半導体の絶縁材料の封止材やシリコンゴムのフィラー(充填剤)、クレンザー、石膏型などに幅広く使用されています。一方、発がんのおそれのある物質であり、大量に吸引することでじん肺や肺がんに罹患することもあります。
- 2 多治見署管内においては、結晶性シリカパウダーを取り扱う粉じん作業に従事していた労働者がじん肺による呼吸不全等で平成 27 年 12 月に死亡したほか、同様の粉じん作業を行っていた他の労働者 2 名もじん肺であることが判明しました。
通常、じん肺は長期間にわたって無機物又は鉱物性の粉じんを多量に肺に吸い込むことで罹患する職業性疾病ですが、この 3 名については粉じん作業の従事期間が 2 ~ 6 年という短期間であるにもかかわらず発症しました。
- 3 このため、結晶性シリカ等を取り扱う事業場に対し、危険性及び健康障害防止対策を周知するために本講習会を開催することとしました。

「シリカ等によるじん肺予防講習会」次第

1 署長あいさつ

多治見労働基準監督署 署長 (13:30～)

2 結晶性シリカ等に係る監督指導結果等から見たじん肺予防対策

多治見労働基準監督署 監督課長 (13:35～)

本年、多治見署で実施した監督指導結果等に基づき、結晶性シリカ等の危険性を踏まえた健康障害防止対策（作業環境測定、局所排気装置の設置・防じんマスクの着用、じん肺健康診断）について説明します。

3 結晶性シリカパウダーによるじん肺死亡事例

多治見労働基準監督署 安全衛生課長 (14:00～)

平成 27 年に多治見署管内の結晶性シリカパウダーを取り扱う事業場の作業員が粉じん作業の従事期間が 4 年で死亡した事例及び結晶性シリカの SDS（安全データシート）について説明します。

4 産業廃棄物の適正な管理について (14:25～)

岐阜県環境生活部廃棄物対策課 主任技師

休 憩

5 特別講演 「じん肺の症状、健康管理、予防対策」 (14:45～16:15)

独立行政法人労働者健康安全機構 旭労災病院
副 院 長 宇佐美 郁治 先生

講習会で使用したスライドのうち、工場内設備及びX線写真の掲載・放送はご遠慮ください